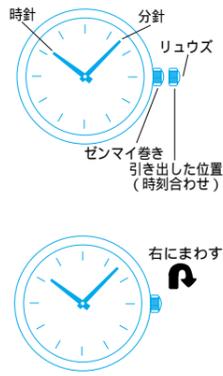


## ご使用方法（2針）機種6810

手巻き式機械時計の取扱いかた

- この時計は手巻き式機械時計です。ゼンマイを、毎日一定の時刻に十分に巻いてご使用ください。
- ゼンマイを巻く際には、リュウズを右方向（12時方向）にゆっくりとまわしてください。なお、リュウズは左方向（6時方向）では空回りするようになっています。
- ゼンマイが巻き上げ完了に近づくと、リュウズをまわすのが重くなります。それ以上無理に巻こうとして、ゼンマイを巻き切らないよう注意してください。（ゼンマイは約20回転で十分に巻き上げることができます。）
- この時計は、ゼンマイを十分に巻き上げた状態で約37時間動き続けます。



時刻の合わせ方

- リュウズを引き出します。
- リュウズをまわして、時刻を合わせてください。

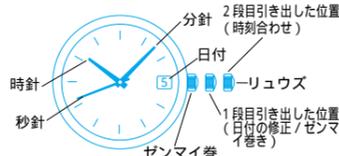


### 注意

機械時計はクォーツ時計と機構が異なりますので、時刻を合わせる際には、針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。

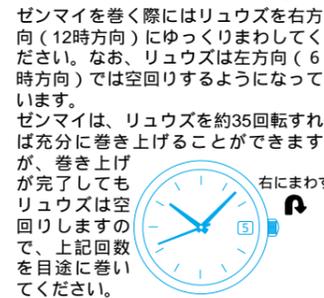
## ご使用方法（3針、日付つき）機種4S15・4S25・4S35

止まっている時計をお使いになるときは、リュウズをまわすか時計を振って時計を始動させてください。秒針が動きだしたら日付と時刻を合わせて腕におつけてください。



〔自動巻き式機械時計の取扱いかた〕

この時計は自動巻き式機械時計（手巻き付き）です。ゼンマイは時計を腕につけた状態では通常の腕の動きで自然に巻くことができます。また、リュウズをまわしてゼンマイを巻くこともできます。



この時計は、ゼンマイが十分に巻き上げられた状態で約40時間動き続けます。（ゼンマイの巻き上げが不足すると進み遅れの原因になりますので、1日8時間以上携帯することをおすすめします。）なお、時計を腕につけなくてご使用される場合は毎日一定の時刻にゼンマイを十分に巻いてご使用ください。

〔時刻・日付表示の合わせかた〕

この時計には、日付表示機能がついています。24時間に一回日付を一日分送るようになっています。日付は、午前0時ごろ送るようになっています。よって、午前午後をまちがえて時刻合わせしてしまうと、お昼の12時に日付が変わってしまいます。リュウズを一段目に引き出します。



リュウズを回転することで日付の修正ができます。前の日の日付に合わせます。（ゼンマイも巻けます）たとえば、今日\*月6日とすると5日に合わせます。

### 注意

時刻表示が午後9時から午前1時までの間、日付の修正はしないでください。この時間帯に日付を修正しますと、翌日になっても日付は変わらないことがあります。

リュウズを二段目まで引き出します。秒針が「12時」の位置にきたときに引き出してください。リュウズを回転させ、針が進む方向にまわし、日付が今日の日付になるまでまわしてください。日付が変わると「午前」です。さらに進めて現在の時刻に合わせます。



## ご使用方法（3針）機種4S24

### 注意

機械時計は、クォーツ時計と機構が異なりますので、時刻を合わせる際には、針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。

時報と同時にリュウズを押し込んでください。

時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

月末の日付修正について

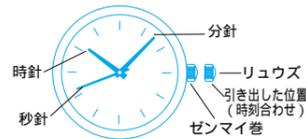
2月（1カ月が28日、うるう年は29日）と小の月（1カ月が30日）では日付の修正が必要です。

小の月の翌月1日の朝、日付を修正する場合

「1日」ではなく「31日」が表示されています。リュウズを一段目に引き出してください。リュウズを回転させ、日付を「1日」に合わせ、リュウズを押し込んでください。

### 注意

時計の針が午後9時から午前1時の間にあるときは、日修正は避けてください。故障の原因になります。



〔手巻き式機械時計の取扱いかた〕

この時計は手巻き式機械時計です。ゼンマイを毎日一定の時刻に十分に巻いてご使用ください。ゼンマイを巻く際には、リュウズを右方向に（12時方向）にゆっくりとまわしてください。なお、リュウズは左方向（6時方向）では空回りするようになっています。

ゼンマイが巻き上げ完了に近づくと、リュウズをまわすのが重くなります。それ以上無理に巻こうとして、ゼンマイを巻き切らないように注意してください。（ゼンマイは約35回転で十分に巻き上げることができます。）



この時計は、ゼンマイを十分に巻き上げた状態で約40時間動き続けます。

〔時刻の合わせかた〕

リュウズを引き出すと秒針が止まります。秒針は「12時」の位置で止めてください。

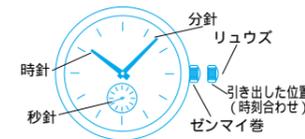
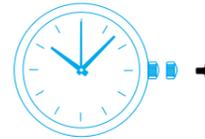
リュウズをまわして、現在の時刻に合わせてください。

### 注意

機械時計は、クォーツ時計と機構が異なりますので、時刻を合わせる際には、針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。

時報と同時にリュウズを押し込んでください。

時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。



〔手巻き式機械時計の取扱いかた〕

この時計は手巻き式機械時計です。ゼンマイを毎日一定の時刻に十分に巻いてご使用ください。ゼンマイを巻く際には、リュウズを右方向に（12時方向）にゆっくりとまわしてください。なお、リュウズは左方向（6時方向）では空回りするようになっています。

ゼンマイが巻き上げ完了に近づくと、リュウズをまわすのが重くなります。それ以上無理に巻こうとして、ゼンマイを巻き切らないように注意してください。（ゼンマイは約35回転で十分に巻き上げることができます。）



この時計は、ゼンマイを十分に巻き上げた状態で約40時間動き続けます。

〔時刻の合わせかた〕

リュウズを引き出すと秒針が止まります。秒針は「60秒」の位置で止めてください。

リュウズをまわして、現在の時刻に合わせてください。

### 注意

機械時計は、クォーツ時計と機構が異なりますので、時刻を合わせる際には、針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。

時報と同時にリュウズを押し込んでください。

時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

